

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター 所長

## 果樹カメムシ類の発生状況と防除の徹底について

県内の一部地区において、果樹カメムシ類の予察灯またはフェロモントラップでの誘殺数が多くなっています。また、一部の果樹園では、5月第2半旬頃から果樹カメムシ類（特に、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ等）の飛来が見られています。

については、下記事項を参考に防除対策を行ってください。

### 記

#### 1. 発生概況

- 1) 県内各地に設置した予察灯（5月第1～3半旬）およびフェロモントラップ（5月第1～2半旬）の誘殺虫数が多い地点がみられる（表1）。
- 2) 県内の一部のナシ、ウメ栽培園でカメムシ類の飛来が確認されている。

表1 県内各地の予察灯およびフェロモントラップにおける果樹カメムシの誘殺状況

トラップ	地区	合計誘殺虫数(頭)		
		本年	平年	前年
予察灯 (5月第1～3半旬)	佐賀市 大和町	31	105	65
	小城市 小城町	<b>321</b>	55	89
	太良町 伊福	0	0	-
フェロモン (5月第1～2半旬)	三養基郡 基山町	4	2	0
	唐津市 浜玉町	0	6	0
	唐津市 鎮西町	8	2	3
	伊万里市 南波多町	<b>51</b>	2	0
	小城市 小城町	21	19	13

#### 2. 防除対策

- 1) 飛来状況は地域や園地により異なるため、園内外をこまめに見回り早期発見・早期防除に努める。
- 2) 果樹カメムシ類は、樹高の高い樹木に一旦飛来して、その後果樹園に飛来する傾向があるので、防風樹等は必要以上に高くならないように剪定する。
- 3) カメムシ類は、果樹園へ侵入した後、集合フェロモンで同種を大量に誘引し被害を及ぼす。このため、果樹カメムシ類の果樹園への飛来を認めたら、次に掲げる事項も参考にして、初期防除を徹底する（表2）。
- 4) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（4ミリ目以下）を設置する。
- 5) 薬剤散布の際には、周辺作物への飛散防止に努めるとともに、使用基準を遵守する。
- 6) カメムシ類の発生量と果樹園への飛来時期については、農業技術防除センターが発表す

るカメムシ情報(6～10月、ホームページ「<http://www.pref.saga.lg.jp/web/boujo>」を参考にする。

表2 果樹カメムシ類に登録のある主要薬剤

【カンキツ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数	カメムシ以外の害虫に対する適用		備考
					訪花害虫	アザミウマ	
ネコ チノド	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	コオハナムケ リ ケシスイ類	アザミウマ類	かんきつ で登録
	アドマイヤーフロアブル	2000～5000倍	収穫14日前まで	3回以内		アザミウマ類	
	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内		チャノドアザミウマ	
合成ビ スロド	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	-	チャノドアザミウマ	かんきつ
	マブリック水和剤20	2000～4000倍	収穫45日前まで	2回以内	コオハナムケ リ ケシスイ類	チャノドアザミウマ	かんきつ (みかんを除く)
			収穫21日前まで				みかん
	MR .ジョーカー水和剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	-	チャノドアザミウマ	かんきつ
ロディー乳剤	2000倍	収穫7日前まで	4回以内	コオハナムケ リ ケシスイ類	チャノドアザミウマ	かんきつ	

【ナシ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ビ スロド	アグロスリン水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
	スカウトフロアブル	1500倍	収穫前日まで	5回以内
	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	2回以内
	MR .ジョーカー水和剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
ネコチノ ド	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内

表 2 続き

【カキ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ビ スロイト	アグロスリン水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	MR・ジョーカー水和剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
ネニコ イト	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内

【モモ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ビ スロイト	アグロスリン水和剤	2000倍	収穫前日まで	5回以内
	テルスター水和剤	1000倍	収穫14日前まで	2回以内
ネニコ イト	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内

【ビワ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ビ スロイト	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	2回以内

【キウイフルーツ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ビ スロイト	アディオン乳剤	2000倍	収穫7日前まで	5回以内

【ブドウ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
ネニコ イト	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内
	アルバリン顆粒水溶剤			

登録は平成27年5月22日(金)現在。

農薬を使用する際は、必ずラベルを読んで、使用できる作物であるか、使用濃度、使用量、使用時期は適切か、使用回数は定められた回数を超えていないか等を確認する。